

群馬県国際理解教育研究会

群馬県国際理解教育研究会
発行責任者 会長 天川 博

関ブロ連絡協議会(11/22)報告



【東京都杉並区立浜田山小学校 家庭科室にて】

平成27年度 第2回 関東ブロック連絡会議

平成27年11月22日(日) 杉並区立浜田山小学校

司会：三井知之

1. 挨拶

(1) 全海研より 滝会長：H28年度派遣者がそろそろ確定する。文科省面接で不遜な発言(内容不明)。

2. 全海研本部から

- (1) 研究・研修について 宇土教授 命の水プロジェクト (アジア・フランス・ケニアの実践紹介)
- (2) 広報現在、「広報ひまわり102号」を作成中。印刷費27万円→安くする工夫をしている
- (3) 事務局から諸連絡 三井：会議日程は、早めに決定し、連絡します。

3. 平成27年度 関ブロ東京大会の報告 (宮田実行委員長より))

日時：平成27年8月22日(土)

大会主題「グローバル人材を育む教育実践」

会場 渋谷区立上原中学校 参加者数 160名 参加費 2,000円

4. 平成28年度 関ブロ神奈川大会の開催計画

開催日：平成28年8月20日(土)

開催場所：JICA横浜 〒231-0001 横浜市中区新港2-3-1 参加費 3,000円

(1) 栃木県国際理解教育研究会

- (2) 埼玉県国際理解教育研究会 (埼国理研)
- (3) 東京都海外子女教育研究会 (都海研)
- (4) 神奈川県国際教育研究協議会 (神国際研)
- (5) 山梨県国際理解教育研究会
- (6) 千葉県海外子女教育国際理解教育研究会 (千海研)
- (7) 群馬県国際理解教育研究会
- (8) 茨城県海外子女教育・国際理解教育研究会

※各県教委の後援申請をお願いします

5. 確認・協議事項

(1) 今後の全国大会・関東ブロック大会開催都道府県

全国大会

4 2 回	4 3 回	4 4 回	4 5 回	4 6 回	4 7 回	4 8 回
2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年
(東京都)	(兵庫県)	(長野県)	(千葉県)	(北海道)	(宮崎県)	(富山県)

関東ブロック大会

東京	神奈川	山梨	千葉	群馬	茨城	栃木	埼玉
2 6 回	2 7 回	2 8 回	2 9 回	3 0 回	3 1 回	3 2 回	3 3 回

(2) 確認事項

- ・関東ブロック連絡会議：平成28年5月22日(日)14:00～ JICA横浜
〒231-0001 横浜市中区新港2-3-1 TEL 045-663-3251
- ・分担金 各都道府県から開催都道府県に1万円を5月22日(日)に支払い。
開催県(神奈川県)は領収書を準備する。

(3) その他

①メール・HP関連

- ・全海研メルアド info1@zenkaiken.jp

- ・全海研サーバーへの都道府県HP開設は無料。

(ただし、会長・事務局長・研究担当・ICT担当・会計担当役員の5名の年会費納入・Emailアドレス報告の義務がある。)

②全国大会について

- ・シニア派遣希望者研修会 これまでと改訂(全海研推薦希望者)
まず、全国大会に参加
その後、研修会に参加

◆研修会 平成28年4月30日(土)～5月1日(日) 予定 東京・町田市 ホテル 町田ヴィラ
都道府県の会長推薦(都道府県会長の年会費納入済者)がないと、全海研の推薦ができない。
都道府県でのチェックをしっかりとしてほしい。

該当の研修会に参加していない場合は、推薦できない。

文科省も、地元の組織でどう活動したかが大事であると認識。

シニアは、体調管理上「全海研」では一人派遣希望者は、推薦しない。

補習校だけでなく日本人学校へも派遣。

シニア教諭職は、在外未経験者もあるが、教壇からの長期間離脱者は無理。

全海研と在外校とのシニア直接派遣も現在進行中なので、希望者は、都道府県でまとめて、推薦してほしい。

(文科省派遣とは別に)

現在のシニア派遣者の現状

- ①世界の地域別校長会を毎年実施。②補習校校長の参加率が低い。③無気力の校長が何名かいる。
- ④病気のため赴任して3ヶ月で帰国のシニア派遣者(派遣した県で補充)。⑤3年目の校長のやる気無し!
- ⑥女性校長が教諭で赴任。1年で帰国させられた。⑦健康管理が大切。CT検査等受診しておく。